

# アイガモ農法学ぶ

7/23  
上毛

富岡小 児童32人が水田見学



アイガモを放した水田を観察する  
小野小の児童

富岡市の小野小学校  
(高間久夫校長)の五  
年生三十二人が、アイ  
ガモ農法に取り組む同  
市後賀の社会福祉法  
人、上州水土舎の水田  
を訪れ、稲の成長を助  
けるアイガモの役割を  
学んだ。

十羽ほどの水田で雑  
草や害虫を食べ、養分  
となる糞を出し、根  
や土を刺激して泳ぐア  
イガモ十一羽を観察し  
た児童は「農薬を使わ

ずに大丈夫？」「逃げ  
出さないの？」と興味  
津々。「飼ってみたい」  
などと話していた。

五年生は総合的な  
学習の一環として、学  
校の水田で米作りを取  
り組んでいる。地域住  
民から知的障害者授産  
施設、水土舎の紹介を  
受けて見学、水土舎を  
中心とする施設の役割  
や仕事の内容、などに  
ついて説明を聞いた。